

# B









# 

●成 分: 酢酸……15.0% 水等……85.0%

状:無色透明水溶性液体 ●性

●人畜毒性:普通物

(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

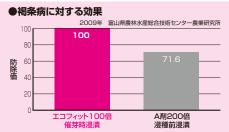
- 1.育苗期の細菌性病害(褐条病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病)に対し、高い防除効果を示します。
- 2.既存の他剤耐性もみ枯細菌病菌にも有効です。
- 3.登録にある細菌性病害に対して、温湯消毒との体系処理で効果が安定化します。
- 4.特別栽培において使用成分にカウントされません。

(実際の使用、生産表示にあたっては、地方公共団体等の認証機関にお問い合わせください。)

#### 用作物と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	酢酸を含む農薬 の総使用回数
稲	苗立枯細菌病	100倍	_	催芽時	_	24時間	
	褐条病	100~200倍		催芽前			
				催芽時	種子浸漬		
	もみ枯細菌病	100倍			10		
稲(箱育苗)			育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱あたり500mℓ	- は種時		灌注	_
		10倍	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱あたり50mℓ			散布	

## **以** 験成績



- ●品種:コシヒカリ
- ●発生状況:中発生(接種) ●発生状況:中発生(接種) ●插種日:6月16日 ●区制・面積:1区通常育苗箱の約1/18大の塩ビカップ、3反復

- ●無処理発病度:22.0



- ●品種: めんこいな
  ●発生状況: 少発生(自然感染種子)
  ●播程日: 9月14日
- ●区制・面積: 1区 110.5cm<sup>2</sup>(8.5cm×13cm)プラスチック容器、 3反復

- ●処理日:9月14日 ●調査日:9月29日(播種15日後) ●調査方法:発病を程度別に調査し、発病度を算出した。
- ●無処理発病度:7.56



上手な使い方

催芽時または催芽前処理時は、調製した薬液に種籾を漬けてください。 効果的な散布・使用のために、地域で発生する病害(糸状菌病・細菌病など)を把握することを心がけましょう。

#### 🗥 効果・薬害等の注意

- ●使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- ●種籾と処理薬液の容量比は1:1以上とし、種籾は目の粗い網袋などを用い薬液内 で種子袋をよくゆすってください。
- ●銅·真鍮に対して腐食性を有するため、これらを含む器具を使用しないでください。
- ●軽度の初期生育遅延を生じることがありますが、その後回復するので通常の管理 を維持してください。
- ●使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する 場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

### ⚠ 安全使用上の注意 😌 🛈 👣

- ●原液は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ●強い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付いた 場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

- ●薬液調整時には保護メガネ、不浸透手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用 してください。使用の際は、不浸透性手袋などを着用してください。
- ●浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動物に影響を与えないよう適切に処理し てください。
- ●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

保管:密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼な所。

詳しい使い方、 登録内容は こちらから。



本資料は2022年12月現在の知見に基づき作成しています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。

●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。 自然に学び 自然を守る





